

男性の育児休業取得座談会

田辺 一城 市長



育休取得男性職員（6名）



<市長よりメッセージ>

育児休業（以下、育休）取得が古賀市は皆様のお陰様で進んでいます。こういった状況を当たり前にしていくことが大切です。役所でも男性が育休をしっかりと取得しているということは民間企業へのメッセージにもなります。男性が当たり前で育休を取るという状況かつ取得期間の長さも気になるところです。育休を取得するのは女性だけでなく、男性も当たり前という世の中になっていくべきと考えています。



Aさん

どうして育休を取ろうと思ったの？

子どもが好きだったから産まれる前から取りたいと考えていました。また、業務の繁忙期を避けた時期と育休希望の時期が重なったため取りたいと思いました。

どのぐらいの期間取りましたか？

有給1か月と育休1か月で合わせて、2か月取得しました。



育休を取る時に気になったことは？

自分が抜けたときの業務体制です。職場環境的に非常に取りにくい状況であったが、同僚が後押しをしてくれたことで取得することができました。

周りの理解や後押ししてくれる状況は非常に大切です。このような職員を増やしていけたら良いと思います。



育休取得によるメリットは？

子どもの世話に集中できたことです。世話の仕方を育休中に学べたことでその後の生活に対するイメージができたため、復職後も育児に関する苦労はしていません。

確かに育休を取得することは、子どもと向き合うことを体験できる時間になると思います。



Bさん

どうして育休を取ろうと思ったの？

2人目の時は出産前から妻に1人で家事をするのは大変なため育休を取って、育児を一緒にしてほしいと言われていたからです。1人目の時は出産3か月後に取得しましたが2人目の時は産まれてすぐ取得し、妻にも助かったと言われました。

育休を取って得られたものは？

今後のキャリアの中で自分の職が上っていったときに、育休の大事さを身に染みている自分は今後周りを応援することができると感じました。また、育休を取られていた女性職員の気持ちも今は分かるようになりました。

このような考えは職場内のコミュニケーションにジェンダーの視点でプラスに作用すると思います。



育休取得者が感じたメリット

- ・ 育児の大変さが分かる
- ・ 子どもの世話に集中できる
- ・ 世話の仕方を学べる
（その後の生活のイメージも掴める）
- ・ パートナーも助かる
- ・ 上の子との時間も増える（2人目以上の場合）



<人事秘書課より>

男性の育休取得率は年々上昇しており、少しずつ定着し始めています。令和4年10月からは育休をより柔軟に取得できるように制度も変わりました。育休の取得率は高まっていますが、期間が短いことを課題に感じています。今回の座談会を通じて、職場体制、繁忙期、財政面などあらゆる要因により長期間の取得が難しいことを感じました。育児にまつわる休暇の中には配偶者出産休暇など有給のものもあります。育休または育児にまつわる休暇制度など分からないことがありましたら人事秘書課までご相談ください。